

教育・研究業績書

<p>診療科名 越谷病院循環器内科</p>		
<p><教員の紹介></p>		
<p>教授 高柳 寛 准教授 酒井 良彦 講師 小林 さゆき 講師 田中 数彦</p>		
<p>I 教育活動</p>		
<p>教育実践上の主な業績</p>	<p>年月</p>	<p>概要</p>
<p>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</p>		
<p>1. 循環器内科学の迅速な診断能力の向上と実践</p>	<p>2004年4月～現在</p>	<p>循環器内科学の診療の場において必要とされる迅速な診断能力の向上を目指している。当科の臨床例は急変することが多く、正確な診断を迅速に下せるように講義と実習を並行させる。</p>
<p>2. 生活習慣病への対応</p>	<p>2006年4月～現在</p>	<p>循環器疾患の原因となる高血圧、糖尿病等を克服するために、生活習慣病の重要性と危険性を徹底的に理解させる。</p>
<p>② 作成した教科書、教材、参考書</p>		
<p>コンパクト内科学（井上修二編、金芳堂2009年）分担執筆</p>		<p>E. 虚血性心疾患（p109-122） 当科の治療方針を明示し、学生のBSL教育にも使用する。</p>
<p>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</p>		
<p>1. 高柳 寛 ホルター心電図による問題例の検討-重症不整脈から急死まで（心臓電気生理学的検査とカテーテルアブレーション例を含めて）</p>	<p>2008年3月</p>	<p>心電図ステップアップ講習会。臨床例を用いて講義と指導にあたった。 学生への指導材料として使用する。</p>
<p>2. 13th ISHNE meeting 横浜 特別招請講演 高柳 寛</p>	<p>2009年6月</p>	<p>13th ISHNE meeting 横浜（国際ホルター心電図学会）、 心不全と不整脈についての講演を行った。当科の心不全例の5年生存率は79%（1984-1994年）と比較的良好であるが学生に、心不全の実態を知</p>

<p>酒井良彦</p> <p>3. 埼玉不整脈ペーシング研究会</p> <p>4. 獨協循環器カンファレンス</p>		<p>らせると共に患者教育の資料としても使用する。</p> <p>心電図学についての講演 医学生に、心電図学の実際を学ばせる。また臨床検査技師教育の資料としても使用する。</p> <p>年2回で症例報告等を開催し後進の指導にあたっている。今年5月で第34回を迎えた。</p> <p>年1回で本院循環器内科と研究報告会を開催し学位取得への提示と、学生への指導の方針を交換しあっている。</p>
--	--	---

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院循環器内科	教授	高柳 寛	大学院の研究指導担当資格 有
II 学会等および社会における主な活動			
1976年 4月～現在	日本循環器学会員		
1979年 11月～現在	日本内科学会員		
1985年 10月～現在	日本心電学会員		
1987年 3月～現在	日本不整脈学会員		
1989年 10月～現在	日本心臓病学会員		
1992年 3月～現在	心電学会評議員		
1992年 3月～現在	日本不整脈会評議員		
2000年 8月～現在	Fellow of American College of Cardiology (FACC)		
2004年 1月～現在	日本不整脈学理事		
2004年 4月～2008年 3月	日本循環器学会評議員		
2009年 4月～現在	日本循環器学会評議員		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
欧文			
1. Nakahara S, <u>Takayanagi K</u> , Nakata T, Tanaka K, Hayashi T, Morooka S: Different manifestation of premature ventricular contraction by their origin. Advance in Electrocardiography World Scientific , pp685-686, 2004.			
和文			
1. <u>高柳 寛</u> 一過性に正常伝導に復する完全房室ブロック. 小川 聡編, 不整脈診療のコツと落とし穴. 中山書店:pp132-133 2004.			
2. <u>高柳 寛</u> ジギタリス薬と不整脈 編集笠貫 宏、松崎益徳 心不全と不整脈. 南江堂:pp121-125, 2005.			
3. <u>高柳 寛</u> . Holter心電図法、村川裕二編, 新 目でみる循環器病シリーズ. メジカルレビュー社:pp216-225, 2005.			
4. <u>高柳 寛</u> . 不整脈の分類 小川聡 編 新 目でみる循環器病シリーズ. メジカルレビュー社:pp35-42, 2005.			
5. <u>高柳 寛</u> . 期外収縮 今日の治療指針 2006. 医学書院:pp256-258, 2006.			
6. 清水 稔、酒井良彦、谷口 勲、 <u>高柳 寛</u> (分担執筆): 虚血性心疾患、井上修二編集コンパクト内科学. 金芳堂:pp109-122, 2009.			
【原 著】			
欧文			
1. Ikeda N, Takeuchi A, Hamada A, Goto H, Mamorita N, <u>Takayanagi K</u> : Model of bidirectional modulated parasystole as a mechanism for cyclic bursts of ventricular premature contractions. Biological Cybernetics			

91:37-47, 2004.

2. Inoue T, Nishiki R, Kageyama M, Chida R, Hayashi T, Takayanagi K, Hikichi Y, Node K: Long-term benefits of monteplase before coronary angioplasty in acute myocardial infarction. Am J Cardiol 95:506-508, 2005.
3. Aso Y, Yamamoto R, Wakabayashi S, Uchida T, Takayanagi K, Takebayashi K, Okuno T, Inoue T, Node K, Tobe T, Inukai T, Nakano Y. Comparison of serum high-molecular weight (HMW) adiponectin with total adiponectin concentrations in type 2 diabetic patients with coronary artery disease using a novel enzyme-linked immunosorbent assay to detect HMW adiponectin. Diabetes. 55:1954-1960, 2006.
4. Kobayashi S, Hayashi T, Akiya K, Ichihara M, Minai M, Sakai Y, Takayanagi K : Identification of stimulation site of paemaker lead using tissue tracking method. J Med Ultrasonics 33:23-28, 2006.
5. Kamishirado H, Inoue T, Sakuma M, Tsuda T, Hayashi T, Takayanagi K, Node K: Effects of statins on restenosis after coronary stent implantation. Angiology 58:55-60, 2007.
6. Uchida T, Shimizu M, Sakai Y, Nakano T, Hara K, Takebayashi K, Inoue T, Node K, Inukai T, Takayanagi K: Effects of losartan on serum total and high-molecular weight adiponectin concentrations in hypertensive patients with metabolic syndrome. Metabolism 57: 1278-1285, 2008.
7. N Ikeda, K Takayanagi, A Takeuchi, N Mamorita, H Miyahara. Two Types of Distribution Patterns of Bigeminy and Trigeminy in Long-Term ECG: a Model-Based Interpretation. Computers in Cardiology 35:1049-1052, 2008.

和文

1. 小林さゆき, 林 輝美, 秋谷かおり, 市原美知子, 薬袋路子, 酒井良彦, 高柳 寛: Tissue Tracking法を用いたペースメーカー刺激部位の同定. Jpn J Med Ultrasonic 33: 575-581, 2006.

【症例報告】

欧文

1. Ono C, Ashida T, Sugiyama T, Fujii J, Takayanagi K. Variation in parasystolic cycle length. Int Heart J 47:153-158, 2006.
2. Nakahara S, Takayanagi K, Toratani N, Seino M, Sakai Y, Kobayashi S, Matsumoto K: DDD pacing therapy could serve as dual purpose treatment in hypertrophic obstructive cardiomyopathy. J Arrhythmia 23: 245-249, 2007.
3. Nakahara S, Takayanagi K, Iesaka Y. A case of persistent atrial fibrillation cured by focal ablation in a young patient. PACE 2007: 30:1171-1173, 2007.

和文

1. 黒柳享義, 田中数彦, 高柳 寛, 中田俊之, 久内 格, 中原志朗, 加藤 剛, 津田達広, 満野正典, 林輝美, 諸岡成

- 徳:Cilostazol が心室頻拍の出現に関与したと考えられた2症例. Therapeutic Research 25:418-420, 2004.
2. 黒柳享義, 田中数彦, 高柳 寛, 中田俊之, 中原志朗, 大澤途代, 山口千尋, 酒井良彦, 林輝美, 諸岡成徳: 血管攣縮性狭心症に併発した心室頻拍に運動負荷の対比が有用であった1例. Therapeutic Research 25: 1537-1539, 2004.
 3. 虎溪則孝, 中原志朗, 渡邊淳一郎, 中田俊之, 酒井良彦, 林 輝美, 高柳 寛: III群静注薬と直流通電抵抗性のelectrical stormに対し β -blocker静注が有効であった1例. Therapeutic Research 26:127-130, 2005.
 4. 新健太郎, 渡辺淳一郎, 谷口 勲, 瀧澤 圭, 市原美知子, 林亜紀子, 酒井良彦, 林 輝美, 高柳 寛: 左主幹部冠攣縮によると思われる急性冠症候群の1例. 心臓 38:806-810, 2006.
 5. 木村紀子, 林 輝美, 小林さゆき, 秋谷かおり, 入江嘉仁, 佐々木伸二, 小沼善明, 河原恵子, 高柳 寛, 森三樹雄: 重複僧帽弁口を伴った大動脈二尖弁による高度大動脈弁逆流の1例. Jpn J Med Ultrasonics 33: 359-362, 2006.
 6. 市原美知子, 谷口勲, 唐原悟, 由布哲夫, 新健太郎, 藤掛彰則, 清水 稔, 酒井良彦, 高柳 寛, 前原晶子: スtent内再狭窄の新生内膜に潰瘍形成を認めた1例. Jpn J Interv Cardiol 22: 253-256, 2007.
 7. 清野正典, 中原志朗, 虎溪則孝, 酒井良彦, 高柳 寛: 心臓再同期療法施行時にカテーテルアブレーションを併用した重症心不全の2例. Therapeutic Research 28: 79-82, 2007.
 8. 清野正典, 中原志朗, 虎溪則孝, 田中数彦, 酒井良彦, 高柳 寛: VV timingの至適化にて心不全の改善を認めた心臓再同期療法の1例. Therapeutic Research 28: 1799-1803, 2007.
 9. 中原志朗, 高柳 寛: 左上肺静脈鞍部のfocal ablationにて治癒しえた持続性心房細動の一例. 臨床心臓電気生理 30:9-16, 2007.
 10. 黒柳享義, 田中数彦, 清野正典, 虎溪則孝, 中原志朗, 酒井良彦, 高柳 寛: 右室流出路起源心室頻拍にdelayed potentialを認め広範囲に焼灼が必要であった心室頻拍の1例. Therapeutic Research 29: 1103-1105, 2008.
 11. 林 亜紀子, 田中数彦, 清野正典, 虎溪則孝, 酒井良彦, 高柳 寛: 外科的抜去を要したペースメーカー穿孔の1例. Therapeutic Research 30:147-149, 2009.

【総 説】

和文

1. 高柳 寛: 心室性不整脈を合併する心房細動例 治療学 39:30;2005
2. 高柳 寛: 不整脈の薬物治療のトピックス 成人病と生活習慣病 36:1368-1370, 2006.
3. 高柳 寛: 10. 心室期外収縮に対する電気生理検査臨床 班長: 山口 巖 心臓電気生理検査に関するガイドライン Circulation Journal 70 Suppl VI: 1417-1419;2006.
4. 高柳 寛: 副収縮 循環器症候群 (第2版) 日本臨床 別冊 517-523, 2007.
5. 高柳 寛: 難治性不整脈 序文 循環器科 62:503-505, 2007.
6. 高柳 寛: 田中数彦: 治療における新薬の位置付け-抗不整脈薬 新薬展望 2008- 医薬ジャーナル 44:230-233, 2008.
7. 高柳 寛: 抗精神病薬による心電図異常 (QT延長を含む) 精神科治療学 24:685-690, 2009.
8. 瀧沢義教, 川村憲弥, 澤 朋良, 一戸利恵, 柴崎光恵衛, 谷直人, 酒井良彦, 高柳 寛, 春木宏介: モバイル心電計の使用経験 医療と検査機器・試薬. 32:9-16, 2009.

【そ の 他】

和文

1. 高柳 寛 ホルター心電図による問題例の検討-重症不整脈から急死まで（心臓電気生理学的検査とカテーテルアブレーション例を含めて） 心電図ステップアップ講習会 2008. 3. 15

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院循環器内科	准教授	酒井 良彦	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1990年12月～現在	日本内科学会認定内科専門医		
1991年4月～現在	日本循環器学会循環器専門医		
1998年1月～現在	日本循環器学会関東甲信越地方会評議員		
1999年6月～現在	日本心臓ペースング・電気生理学会評議員		
2001年10月～現在	日本心血管インターベンション学会指導医		
2008年1月～現在	日本医師会認定産業医		
2008年2月～現在	日本循環器学会正会員代表		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著書】			
和文			
1. 酒井良彦, 諸岡成徳: 心外膜・心筋炎. 各科に役立つ 救急処置・処方マニュアル. 北村 論ほか編、医歯薬出版, pp316-320, 2005.			
2. 酒井良彦, 高柳 寛: 無痛性虚血性心疾患, 急性冠症候群, 川崎病. 井上修司, 上原誉志夫, 金澤真雄, 川口 実, 代田常道編, コンパクト内科. 金芳堂, pp113-114, 118-122, 2009.			
【原著】			
欧文			
1. Kobayashi S, Hayashi T, Akiya K, Ichihara M, Minai M, <u>Sakai Y</u> , Takayanagi K: Identification of stimulation site of pacemaker lead using tissue tracking method. J Med Ultrasonics 33: 23-28, 2006.			
2. Nakahara S, Takayanagi K, Toratani N, Seino M, <u>Sakai Y</u> , Kobayashi S, Matsumoto K: DDD pacing therapy could serve as dual purpose treatment in hypertrophic obstructive cardiomyopathy. J Arrhythmia 23: 245-249, 2007.			
3. Uchida T, Shimizu M, <u>Sakai Y</u> , T. Nakano, K. Hara, K. Takebayashi, T. Inoue, K. Node, T. Inukai, K. Takayanagi: Effects of losartan on serum total and high-molecular weight adiponectin concentrations in hypertensive patients with metabolic syndrome. Metabolism 57: 1278-1285:2008.			
和文			
1. 小林さゆき, 林輝美, 秋谷かおり, 市原美知子, 薬袋路子, 酒井良彦, 高柳 寛: Tissue Tracking法を用いたペースメーカー刺激部位の同定. Jpn J Med Ultrasonic 33: 575-581, 2006.			
【症例報告】			
和文			
1. 黒柳享義, 田中数彦, 高柳寛, 中田俊之, 中原志朗, 大澤途代, 山口千尋, 酒井良彦, 林輝美, 諸岡成徳: 血管攣縮性			

- 狭心症に併発した心室頻拍に運動負荷の対比が有用であった1例. Therapeutic Research 25: 1537-1539, 2004.
2. 新健太郎, 渡辺淳一郎, 谷口勲, 瀧澤圭, 市原美知子, 林亜紀子, 酒井良彦, 林 輝美, 高柳寛: 左主幹部冠攣縮によると思われる急性冠症候群の1例. 心臓 38, 8: 806-810, 2006.
 3. 市原美知子, 谷口勲, 唐原悟, 由布哲夫, 新健太郎, 藤掛彰則, 清水稔, 酒井良彦, 高柳寛, 前原晶子: スtent内再狭窄の新生内膜に潰瘍形成を認めた1例. Jpn J Interv Cardiol 22: 253-256, 2007.
 4. 清野正典, 中原志朗, 虎溪則孝, 田中数彦, 酒井良彦, 高柳寛: VV timingの至適化にて心不全の改善を認めた心臓再同期療法 of 1例. Therapeutic Research 28: 1799-1803, 2007.
 5. 林 亜紀子, 田中数彦, 清野正典, 虎溪則孝, 酒井良彦, 高柳 寛: 外科的抜去を要したペースメーカー穿孔の1例. Therapeutic Research 30: 147-149, 2009.

【総 説】

和文

1. 酒井良彦, 諸岡成徳: フローチャートでみる生活習慣病診療指針 2 - 後天性弁膜症 -. 成人病と生活習慣病 34: 217-221, 2004.

【そ の 他】

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院循環器内科	講師	小林 さゆき	大学院の研究指導担当資格 無
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1988年～現在	日本循環器学会員		
1988年～現在	日本超音波医学会員		
1988年～現在	日本心電図学会員		
1994年～現在	日本心エコー図学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>小林さゆき</u> , 林 輝美 : 基本をおさえた心エコー 撮りかた, 診かた. 羊土社, 2006			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Kobayashi S</u> , Hayashi T: Identification of stimulation site of pacemaker lead using tissue tracking method. J Med Ultrasonics 33:23-28, 2006			
和文			
1. <u>小林さゆき</u> , 林 輝美, 秋谷かおり : Tissue Tracking法を用いたペースメーカー刺激部位の同定. 超音波医学 33 : 359-362, 2006.			
【症例報告】			
和文			
1. 木村紀子, 林 輝美, <u>小林さゆき</u> , 秋谷かおり, 入江嘉仁, 佐々木伸二, 小沼善明, 河原恵子, 高柳 寛, 森三樹雄: 重複僧帽弁口を伴った大動脈二尖弁による高度大動脈弁逆流の1例. Jpn J Med Ultrasonics 33: 359-362, 2006.			
【総 説】			
和文			
1. <u>小林さゆき</u> : 女医と職業選択. 性差と医療, じほう:975-977, 2006.			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院循環器内科	講師	田中 数彦	大学院の研究指導担当資格 無
II 学会等および社会における主な活動			
1998年 4月～現在	日本循環器学会員		
1998年 4月～現在	日本内科学会員		
2001年 4月～現在	日本心電学会員		
2001年 4月～現在	日本不整脈学会員		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
欧文			
1. Nakahara S, Takayanagi K, Nakata T, <u>Tanaka K</u> , Hayashi T, Morooka S: Different manifestation of premature ventricular contraction by their origin. Editor Hiraoka M, advance in electrocardiography world scientific, pp685-686, 2004.			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Tanaka K</u> , Zlochiver S, Vikstrom KL, Yamazaki M, Moreno J, Klos M, Zaitsev AV, Vaidyanathan R, Auerbach DS, Landas S, Guiraudon G, Jalife J, Berenfeld O, Kalifa J: Spatial distribution of fibrosis governs fibrillation wave dynamics in the posterior left atrium during heart failure. Circ Res 101: 839-847, 2007.			
2. Kalifa J, Klos M, Zlochiver S, Mironov S, <u>Tanaka K</u> , Ulahannan N, Yamazaki M, Jalife J, Berenfeld O: Endoscopic fluorescence mapping of the left atrium -a novel experimental approach for high resolution endocardial mapping in the intact heart. Heart Rhythm 4: 916-924, 2007.			
【症例報告】			
和文			
1. 黒柳享義, <u>田中数彦</u> , 高柳 寛, 中田俊之, 久内 格, 中原志朗, 加藤 剛, 津田達広, 満野正典, 林輝美, 諸岡成徳: Cilostazol が心室頻拍の出現に関与したと考えられた2症例. Therapeutic Research 25:418-420, 2004.			
2. 黒柳享義, <u>田中数彦</u> , 高柳 寛, 中田俊之, 中原志朗, 大澤途代, 山口千尋, 酒井良彦, 林輝美, 諸岡成徳: 血管攣縮性狭心症に併発した心室頻拍に運動負荷の対比が有用であった1例. Therapeutic Research 25: 1537-1539, 2004.			
3. 黒柳享義, <u>田中数彦</u> , 清野正典, 虎溪則孝, 中原志朗, 酒井良彦, 高柳 寛, : 右室流出路起源心室頻拍にdelayed potentialを認め広範囲に焼灼が必要であった心室頻拍の1例. Therapeutic Research 29: 1103-1105, 2008.			
4. 林 亜紀子, <u>田中数彦</u> , 清野正典, 虎溪則孝, 酒井良彦, 高柳 寛: 外科的抜去を要したペースメーカー穿孔の1例. Therapeutic Research 30, 147-149, 2009.			
【総 説】			

和文

1. 高柳 寛, 田中数彦: 新薬展望 2008-治療における新薬の位置付け-抗不整脈薬 医薬ジャーナル 44:230-233, 2008.

【その他】